

京都の天然砥石 奥深さPR 図

砥石の奥深さを伝えようと、亀岡市の天然砥石採掘加工業者が砥石の展示と研ぎ比べの催しを10月1、2日に京都市内で行う。京都の山で採取した希少な砥石約200点を展示し、刃物に欠かせない砥石の魅力をアピールする。



天然砥石 切れ味わって



京都「最後」の手掘り職人

砥石の奥深さを伝えよう 京都の天然砥石は仕上げと、亀岡市の天然砥石採掘 砥石と呼ばれるきめ細かな加工業者が砥石の展示と研 粒子が特長。約800年前 ぎ比べの催しを10月1、2 日の鎌倉時代から産出し、京 日に京都市内で行う。京都 都の地場産業として知られ の山で採取した希少な砥石 ていた。

近年は後継者不足に加 約200点を展示し、刃物 え、安い人工砥石の普及で 市民や料理人らにアピール 廃業が相次いでおり、土橋 する。

1877年創業の「砥取 さん」は「最後の手掘り職人 家」の4代目、土橋要造さ として、京都の砥石の魅力 や研ぎ文化を伝えたい」と 販路拡大を目指していた。 丸尾山坑内で採掘してい 職人同士の縁で知り合った 手描友禅職人の高橋周也さ る。

中京です、あさって

展示と研ぎ比べ

ん(39)が自分が勤める工 房での展示を企画した。

丸尾山をはじめ、閉山し た山を含め六つの山から産 出された約200種類を展 示する。大かんな向けの大型砥石など用途もさまざま なものをそろえる。

家庭の刃物の持ち込みも でき、各種砥石を使って研 ぎ比べたり、研ぎ方の指導 を受けられる。包丁の切れ 味を見てもらうため、2日 にはすしパー(有料、要予 約)も設ける。砥石の即売 も行う。

土橋さんは「研ぐと心が 落ち着き、切れ味次第で料 理の味も変わる。砥石の良 さを知ってほしい」と話し ている。

午前10時〜午後6時に、 中京区新町通二条上ルの手 描友禅染工房「高橋徳」 ☎ 075(211)1664 で開く。入場無料。

(上野正俊)

砥石の研ぎ比べの準備をする 土橋さん(手前)ら。京都市 中京区・高橋徳